

高等学校

教科【情報】

単元【情報Ⅰ：情報社会の問題解決】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

「日常の生活場面からの問題提起」及び「既習事項の活用（表計算アプリ等を活用した統計分析の手法）」により学習意欲を喚起している。

ICT活用のポイント

クラウドサービスを利用して、アンケートを実施することで、クラス全員の集計結果がリアルタイムで共有できることから、限られた授業時間を有効に利用することができる。

使用する
ICT機器

PC、タブレット端末等

使用するアプリ・
クラウドサービス等

Google フォーム、Google スプレッドシート

クラウド
の活用☐教材の配布・回収等
☐生徒の学習状況の把握☐資料等の共有
☒その他（アンケート機能）本時の
ねらい

スマートフォンの利用状況を集計し、その結果から利用に関する課題を分析する。

主な学習活動
(学習場面)

I C T の活用・留意点等

評価

導入

- 本日の学習内容を確認する。
- 各自が設定した仮説を確認する。

- 大型提示装置を活用し、本時のねらいと学習内容を確認する。
- 前時に作成したワークシート（クラウドサービスのドライブに保存済み）を開き、各自の仮説を確認する。

ICT機器

クラウド

展開

- クラウドサービスを利用してアンケートを実施する。

①アンケートを実施する。

③集計結果を基に
仮説を検証する。

- ダウンロードしたCSVファイルを利用して、ピボットテーブルを用いたクロス集計や相関分析等の手法を用いて分析を行う。

②アンケート結果が
自動集計される。②アンケート結果が
自動集計される。

クラウド 指針2

指針1

Point

クラウドサービスのドライブにワークシートを保存することで、インターネットに接続できる環境があれば、いつでもどこでも学習を継続することが可能となります。

個別

④検証した結果をワークシートにまとめる。

WS スマートフォンの利用調査のまとめ

1年組番氏名

1 スマートフォンの利用に関する基本的な統計量を求めなさい。

	平均値	中央値	最頻値	最大値	最
男	255	255	290	320	
女	228	235	250	320	
全体	242	240	240	320	

2 利用時間の度数分布を求めなさい。

	-30	-60	-90	-120	-150	-180	-210	-240	-270	-300
男	0	0	0	0	0	0	6	3	2	6

【思】
データを適切
かつ効果的に
活用して、問
題を発見・解
決する方法に
ついて考えて
いる。

終末

- 本日の振り返りと課題の指示

- 振り返りシートの記入
- 【課題】次時の授業までに、関係性の深いデータを踏まえて解決の方策をまとめること。

クラウド 指針4

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【思】＝思考・判断・表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度